

松浪地区まちぢから協議会 第2回 防災対策部会 部会員各位

防災対策部会より
「まちぢから協議会 第2回防災対策部会」
の開催をご案内申し上げます。

日時 平成28年6月23日(木) 18時30分～20時30分まで

場所 松浪コミュニティーセンター ホール1.2

添付 「本案内」 及び 「第2回防災対策部会 次第」

万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

(注) このメールは先に頂戴した防災対策部会員名簿に基づいて、メールアドレスを登録された部会員様全員に送信しています。

メールアドレスを登録されていない部会員様には、恐れ入りますが自治会長様からご連絡くださいますようお願い申し上げます。

防災対策部会 副部長 田中義益
緑が浜 2-12 tel/fax 88-5843

平成 28 年度松浪地区まちぢから協議会 第二回防災対策部会次第

日 時：平成 28 年 6 月 23 日（木） 18 時 30 分～20 時 00 分
場 所：松浪コミュニティセンター ホール 1・2


松浪地区まちぢから協議会
防災対策部会

1. 開 会

2. まちぢから協議会会長 挨拶

3. 部会長 挨拶

次ページを使って防災対策課平山
さんが説明した。



4. 議 事

- ① 自主防災組織防災資機材整備費補助金について
意見を提出した自主防による紹介
- ② 減災効果に直結した地区防災訓練について
防災対策課提案検討し、松浪地区防災訓練へ反映
- ③ 市民集会への対応について
過去の行政からの回答を再検討し、具体的な回答が得られる質問を提出
- ④ その他

5. 防災訓練実行委員会開催予定通知

- ① 第一回 7月 7日（木） 18時30分～20時00分 コミセンホール1・2
- ② 第二回 7月21日（木） 同上

6. 閉 会

減災効果に直結した地区防災訓練について

熊本地震や他の災害からの教訓として、救援物資が必要な場所へスムーズに手配できていないという例をとっても、災害時の拠点機能の強化、地域の被災状況や救援ニーズなどの情報受伝達方法の確立など、改めてその重要性・必要性が取り上げられています。

発災直後は、行政としての救助・救援活動など公助の働きが弱まります。そうした中でも、優先すべき事案の把握など、すべてが情報の集約から始まります。まずでき得る公助の機能として、災害対策地区防災拠点において配備職員が地域と行政の窓口となりますが、地域との強い連携が不可欠であることはいうまでもありません。

こうしたことから、地域における自助・共助の促進、地域と行政の連携強化など、より減災効果が図られるにはどのような訓練が考えられるのか、提案させていただくものです。

1 訓練の目的をあらためて考えてみる

「ゴルフ場 = 広域避難場所に逃げ込む訓練を 今まで行ったことが無い！」を提案した。

①なぜ防災訓練をするのか

訓練の目的 = 「災害時、住民一人一人がいかに死なないようにするか」

目的の達成 (= 死者を減らす) ためには、個人として、家族として、また地域として何に備えるべきか、どのような訓練が必要かを改めて考えてみる。

②減災効果に直接的につながっている活きた訓練か ~本当に必要な訓練を選ぶ~

- ・ 災害時の死者を減らすためにはどのような訓練をすることが必要か。
- ・ 訓練参加者の中でも、自主防災組織の役員や防災リーダー等の地域の防災活動の主軸となる人達と普段はなかなか参加できない地域住民では、災害時における役割や活動が異なる。



「防災活動の主軸となる人達」と「地域住民（訓練の一般参加者）」とでそれぞれ本当に必要とする訓練内容を選び、実災害時に必要となる活動につながる工夫が必要。

③訓練の成果を考える ~参加者に何が伝わったか・身に付いたのかを考える~

訓練内容や時間配分、指導方法を考える時の重要なポイントは、『訓練で何を参加者に伝えたいか』、『この訓練で参加者に伝わるか、身に付くか』そして『伝えた内容が、減災につながっているか』を意識することです。

《今年度の地区防災訓練のテーマ》

減災効果に直結した、災害時に参加者に必要とされる活動のための訓練

訓練を改めて…

訓練前、訓練後で何が変わったか？

何が前進したか？

災害に強いまちづくりに近づいたか？

参加者に、何が伝わったか？身に付いたか？ を改めて考える。